

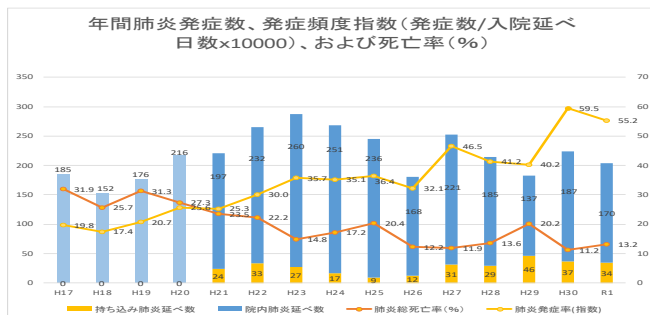
RCT年次報告(令和元年度)

RCTミーティング 月1回(木曜日) 合計12回

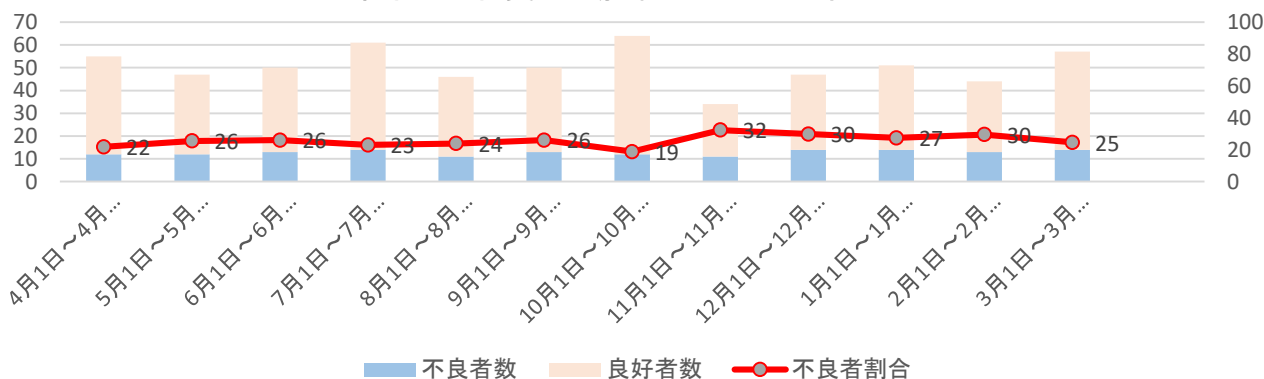
- ・カフアシスト延べ対象者数:92例
- ・カフアシスト実施者数:13例

- ・口腔アセスメント延べ実施者数:606例
- ・リスク有症例数:153例

令和元年度の肺炎総数は 204件(内持込34件)。昨年度は 224件(持込37件)であり去年に比べ総数で20件、院内発症で17件減少した。肺炎発症指数は59.5から55.2へ減少したが、死亡率は11.2%から13.2%へやや上昇した。カフアシストは13例に合計100回実施。



令和元年度 口腔衛生状態の経過



R1年度RCT評価

- ・R1年度の院内肺炎発症数170件であり目標数値である150以下は達成できず。
- ・H30年度と比較して肺炎患者数、発症頻度はやや減少したが、死亡率はやや増加傾向にあった。
- ・H30年度と比較し、口腔不良者の割合は変わらなかった。年間通してほぼ横ばい傾向。

R1年度RCT活動報告

第27回日本慢性期医療学会発表 2019年12月3日(火)4日(水)開催

第21回徳島県慢性期医療学会発表 2019年5月25日(土)開催

肺炎撲滅に向けた当院呼吸ケアチームの取り組み 森本PT

第7回慢性期リハビリテーション学会 2020年2月27日(木)、28日(金)新型コロナウイルスの為、中止→誌上发表

医療療養病床入院の嚥下障害患者における嚥下反射と誤嚥性肺炎発症との関連性 大村ST

- 次年度目標:カフアシスト実施症例を15例。実施回数は180回とする。肺炎患者数の数値目標は院内肺炎のみ150例以下とする。

